

議会

No.232



議会に対するご意見
をお聞かせください。

電話

☎0269-82-3111
(内線170)

E-mail

gikai@vill.kijimadaira.lg.jp

発行：木島平村議会
編集：議会だより編集委員会

年頭のごあいさつ



木島平村議会議長

萩原 由一



明けましておめでとうございます。皆様には、健康で希望に満ちた初春を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

また、日頃から議会活動に対しまして、深いご理解と温かいご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

私も議員は、村民の皆様の付託と信頼に応えるべく、議会が持つ二つの使命であります「具体的政策の最終決定」と「行財政運営の評価と監視」を達成できるよう、日々精進しているところです。

さて、振り返りますと、昨年も全国各地で自然災害が多数発生し、わが村でも天候不順等による災害が発生しました。

一昨年暮れからの寡雪が続き、2月頃までほぼ根雪とならないような状況となり、冬季産業に携わる皆さんにおかれましては大変ご苦労されたことかと思えます。

また、7月には全国的に天候不安定となり、各地で大雨特別

警報が発令されるなか、本村においても記録的な長雨と、断続的な集中豪雨に見舞われ、各地で床下浸水や農地の冠水被害が発生しました。一転8月には極端な少雨と連日の猛暑が続き、農作物の生育に多大な影響が生じ、自然の脅威を改めてまざまざと感ぜさせられました。

また、新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るい、自粛などの行動制限により我々の生活に多大な影響を及ぼした年でもありました。

そのような中、旧庁舎の解体撤去作業も昨年暮れにはおおむね完了となりました。雪解け後からは造成工事が始まり、跡地には防災対策の拠点としての機能を有する防災倉庫と駐車場が建設され、積年の課題でありました庁舎を含めた役場周辺整備事業がすべて完了となる見込みです。

迎える新年、気持ち新たに議員全員が一丸となり、住みよい村づくりのため、改めて真剣に取り組んでまいり所存です。

皆様におかれましては、一層のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

結びに、新たな年が、木島平村、そして村民の皆様方にとりまして、ご健勝で実り多き年となりますよう祈念を申し上げます。また、ごあいさつとさせていただきます。

令和2年12月 第4回定例会

10議案を審議 全会一致ですべて可決

12月3日から12月24日まで

(新型コロナウイルスの影響で7日間の会期延長)



令和2年 第4回定例会

今議会上程された議案は、次のとおりです。

- ・ 条例案件 (6件)
- ・ 予算案件 (3件)
- ・ 事件(※)案件 (1件)

※事件とは
議会上程されるものは全て「事件」ですが、本議会では、契約の締結などに「事件」が使われます。
今回は、「過疎地域自立促進計画(後述)の変更」が事件案件となりました。

条例

全て一部改正

- 公告式条例
公告掲示板を新庁舎の北側に設置変更。
 - 地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税免除に関する条例
 - 税条例
 - 税外収入金に対する手数料及び延滞金徴収条例
 - 後期高齢者医療に関する条例
 - 保育料徴収条例
- すべて法律の改正に伴う改正。

補正予算

■ 一般会計

追加
総額 5054万8千円
46億7595万4千円

歳入 (以下千円以下四捨五入)

- ・ 入湯税 (▲140万円)
- ・ 地方交付税 (630万円)
- ・ 災害復旧事業の地元分担金 (24万円)
- ・ カヤの平キャンプ場使用料 (34万円)
- ・ 特別定額給付金(国) (▲587万円)
- ・ 農地中間管理事業協力金(県) (260万円)
- ・ 災害復旧補助金(県) (2706万円)
- ・ ふるさと納税 (1000万円)
- ・ 介護保険特別会計からの繰入金 (107万円)
- ・ 過疎対策債 (▲200万円)
- ・ 災害復旧事業債 (790万円) ほか

歳出

【総務課】

- 一般管理費
会計年度任用職員(昨年度まで臨時職員・嘱託職員と称されていた職員)の共済加入者の確定に伴う増額。(150万円)

○ 財産管理費

- ・ ふるさと納税の積立金。昨年度よりも多くの納税が見込まれるため増額。(1000万円)

○ 戸籍住民基本台帳費

- ・ 総務省・法務省の事業内容の確定に伴う増額。(71万円)

○ 非常備消防費

- ・ 消防団員の負傷治療が完了したことに伴う増額。(132万円)

【民生課】

○ 社会福祉総務費

- ・ 特別定額給付金事業の実績に伴う減額。(▲587万円)

○ 老人福祉費

- ・ 高齢者在宅支援事業のシステム利用負担金。(▲59万円)

- ・ 介護保険特別会計で計画していた事業の一部を一般会計で実施することに伴う増額。(112万円)

○ 障害者福祉費

- ・ 障害者自立支援給付費の報酬改定に伴うシステム改修の委託料の増額。(83万円)

○ 児童クラブ運営費

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大により小学校が休業した際の開所日数及び時間が増えたことに伴う増額。(49万円)

【産業課】

○農業委員会費

- ・会計年度職員の報酬の増額。(109万円)

○農業振興費

- ・新規就農研修補助金の対象者がいかなかったことに伴う減額。(▲150万円)

- ・農地中間管理事業の実績に伴う増額。(260万円)

- ・クマやイノシシなどの有害鳥獣の駆除実績に伴う増額。(57万円)

- ・ふるさと納税の寄附金の増額に対応するため、返礼品の費用を増額。(866万円)

○商工振興費

- ・国の地方創生臨時交付金事業で進めている新型コロナウイルスの各支援事業の実績に伴い、それぞれの事業費を調整。

○保健休養施設管理費

- ・カヤの平キャンプ場の利用実績に伴う増額。(17万円)

○農業用施設災害復旧費

- ・実績等に伴う減額。(▲76万円)
- ・昨年10月の台風19号災害と今年7月の豪雨災害の復旧工事費を増額。(2956万円)

【建設課】

○土木総務費

- ・新型コロナウイルスの影響を受けて赤字が増加した長電バスへの補助金。村内の路線分。(60万円)

【教育委員会】

○事務局費

- ・クマの出没多発を受けてスクールバスを増便し運行したことに伴う委託料の増額。(55万円)

○小学校管理費

○中学校管理費

- ・オンライン授業ができるよう備品を整備するための費用。

○公民館費

- ・新型コロナウイルスの影響により中止となった各種事業の費用を減額。

■国民健康保険特別会計

追加

64万5千円

総額

5億6612万6千円

内容

- ・国保システムの委託料増。
- ・対象者増に伴う保険給付費。ほか

■介護保険特別会計

追加

588万3千円

総額

6億5113万3千円

内容

- ・介護保険制度改正に伴うシステム改修費の増。
- ・実績に基づき地域密着型介護予防サービスの負担金増。
- ・対象者増に伴う特定入所者介護サービス費の増。
- ・一般会計への操出金。ほか

事 件

■過疎地域自立促進計画(※)の変更

- ・旧北部小学校の校庭及びプール跡地に定住促進団地の造成工事を進めるための変更。

※過疎地域自立促進計画とは

法律(過疎地域自立促進特別措置法)に基づき、過疎地域に指定された市町村が、地域の自立促進を図るために策定する事業計画のことです。

その計画の事業実施に当たっては財政上の特別措置が受けられるようになります。

なお、計画は新たな課題に対応するため、毎年度見直しを行い、必要に応じて変更を行います。

陳 情

2 件

■安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守るための陳情

審査結果

採択(※1)

■高校再編整備計画にインクルーシブ教育(※2)システムを導入し、下高井農林高校を実践推進校の指定を求める陳情

審査結果

継続審査(※3)

※2 インクルーシブ教育とは

子どもたち一人ひとりが多様であることを前提に、障害の有無にかかわらず、誰もが望めば自分にあった配慮のもと、地域の普通学級で学ぶことです。

※1 採択とは

願意が妥当であり、法令上、行財政上実現性があり、議会として賛同することです。

※3 継続審査とは

会期中に容易に結論が出ず、引き続き、内容の調査、検討を行うため、閉会中も継続して審査を行うことです。次の定例会で再度採決を行い、取り扱いが決定します。

この他に、「趣旨採択」や「不採択」「審議未了」などがあります。

12月定例会審査意見

委員会審査の中で、次のとおりの意見をまとめ、村に対し、報告・対応を求めました。

総務民生文教常任委員会

○新型コロナウイルス感染症対策に取り組まれているが、感染拡大を防ぐため、集団である保育園から介護施設まで早めの対応が肝要と考えられる。保健所機能は県であるが、衛生担当と緊密な連携ができるよう県に求められたい。

予算決算常任委員会

○インターネット接続環境の整っていない児童生徒の家庭にWi-Fiルーター(※)を貸し出すための予算が計上されている。貸出規程を整備され、接続可能家庭との公平感を確保するとともに、通信費が過大な負担にならないよう、細心の配慮をされたい。

※Wi-Fiルーターとは

インターネットを無線通信で行うための機器のことです。

なお、インターネットを行うには、接続事業者との契約や使用料が必要となります。

議会改革検討特別委員会 設置

12月24日(定例会最終日)、これまでの議会の運営内容などを見直すことや議会の活性化のため、議員発議(議員からの議案提出)により特別委員会を設置しました。現在、課題となっていることのひとつに「会期日程」があります。これまで、4回ある定例会は、毎回ほぼ15日間の日程で開催されていますが、3月・9月は、予算・決算の審議があるため、時間や日数に余裕がない状況となっています。

また、一般質問についても、質問方法(一問一答方式か、時間制限方式か)や、会期終盤に行われている日程の見直しなど、他市町村の状況も含めて調査・研究を進めていきます。委員は次のとおりです。

| | |
|------|------------------------|
| 委員長 | 江田 宏子 |
| 副委員長 | 山崎 栄喜 |
| 委員 | 山浦 登 山本 隆樹 丸山 邦久 |

圧雪車5台購入可決(賛成多数)

11月27日、臨時会が開催され、次の案件の審議を行いました。

財産の取得

2件

取得財産

圧雪車5台

契約金額

2563万円

契約相手

木島平観光(株)



起立採決の様子

起立多数(9人中8人)により、可決
(反対:丸山 邦久 議員)

取得財産

(以下、全会一致で可決)
戸籍総合システム
機器 一式

契約金額

1826万円

契約相手

(株)電算

条例

3件全て一部改正

■一般職の職員の給与に関する条例

■特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例

■議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例

いずれも人事院勧告に基づく給与等の改正(期末手当の減額)。

インターネットによる講演会を視聴

11月27日、飯山市「なちゅら」で開催された「信越9市町村広域観光連携会議 講演会」がインターネットでも配信され、役場にて視聴参加しました。今後、このようなオンライン形式での研修が主流になっていくことを実感しました。



インターネットによる講演会視聴

岳北4市村正副議長会 開催

12月23日、岳北4市村(飯山市・野沢温泉村・栄村)正副議長会を開催し、下高井農林高校等、高校再編に関する情報交換を行いました。

今後も不定期ながらも会の開催を継続し、4市村の課題等について情報共有の場としていくことを確認しました。



岳北4市村正副議長会

「9月議会の審査意見」 に対する村の対応

(趣旨抜粋)

令和2年9月第3回議会定例会で出された「審査意見」に対する村の対応の報告です。

(12月3日 本会議「諸般の報告」より)

総務民生文教常任委員会

意見

新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、多くの事業に制限がかかっている。その反面、災害対策をはじめ、コロナ対策など多忙な部署がある。平時から、職員間の職務体制を点検し、職務の平準化に努められたい。

対応

災害対策や新型コロナウイルス対策関連業務については、各課連携し、横断的に取り組んでいる。
今後各課・係の業務量を確認し、できる限り職務の平準化を進める。

予算決算常任委員会

意見①

主要施策の成果説明書にある「成果と課題」が数年来変わっていない。「課題」を解決できない要因を明らかにし、住民福祉の向上を進められたい。

対応①

課題の検討が不十分だった。関係部署と協議、検討のうえ、解決に向けて取り組んでいく。

意見②

移動・交流が制限される中、広報・宣伝はインターネットに頼らざるを得ない。ホームページは常に最新情報を更新し、SNS(インターネット)などによる情報発信や情報共有を更に活用されたい。

対応②

インターネットなどによる広報・宣伝を効果的に発信するには、スキルやセンスが必要。他市町村の取り組みを参考にし、効果的に発信できるよう進めていく。

意見③

調布市への職員派遣は、調布市のみならず、友好都市との重要なつながりである。首都圏への出張所(拠点)機能を更に充実させ、村の営業力が発揮できるようにされたい。

対応③

地域の情報発信ができるよう進めていく。調布市と友好都市を中心に情報発信の充実を進めていきたい。

首都圏全体については、県の施設も有効活用しながら情報発信に努めていく。

意見④

ごみ処理の広報が不足している。処理費の高騰のみならず、環境負荷につながる恐れもある。周知徹底されたい。

対応④

ごみ減量化への意識が定着されるよう、広報誌だけでなく、具体的に分かりやすいふう太ネットによるテレビ広報で周知徹底を行う。

意見⑤

スキー場ゲレンデ境界杭の確定測量に対する費用が膨大となっている。責任の所在を明らかにし、必要な対応を進められたい。

対応⑤

施工は現場を熟知していることから直営工事とした。境界杭は埋没しており施工前の発見は困難な状況だった。管理者として事前の確認不足もあった。今後は、事前の確認を徹底し、再発防止に努める。

意見⑥

地元要望の認定外道路の整備について、地域の公平性が保持できるよう、細心の注意をされたい。

対応⑥

地元区の要望に加え、現場の状況等を勘案して、実施計画に基づき事業を実施している。
地域間の公平性を念頭に置きながら、実施計画の段階から細心の注意を払い、事業を進めていく。

意見⑦

多くの大学との「域学連携」事業を進めてきたが、今後の方向性が明確になっていない。協定終了を待つのではなく、相手先との関係に配慮し、村の方向性を明確にし、今後の事業推進を図りたい。

対応⑦

これまでの連携事業を確認するとともに、今後の村の方針を明確にして、連携大学と協議しながら事業を推進していく。

意見⑧

観光施設の健全な運営をめざし、将来を見据えた持続可能な「観光施設のあり方」「第三セクターのあり方」等を早急に見直し、抜本的な改善・改革に向け、迅速かつ全力で取り組むこと。

対応⑧

施設については、民間活用を行いながら、将来負担を抑えるよう検討を進めていく。

各議員の一般質問の項目

12月21・22日に、8人の議員が一般質問を行いました。

【12月21日(月)】

◆勝山 正

- ① 国道整備及び県事業の現状と今後の取り組みについて
- ② 移住定住について

◆丸山 邦久

- ① コロナ禍における村の教育の現状と将来の展望について
- ② 村長の目指す村の将来像は

◆山本 隆樹

- ① ファームス木島平の運営について
- ② 下高井農林高校の存続について
- ③ (株)クロスプロジェクトグループとの包括連携協定について

◆山浦 登

- ① 老人介護施設の介護人材不足について
- ② 新型コロナウイルス感染症対策について
- ③ 気候非常事態宣言について
- ④ ファームス木島平の経営について

【12月22日(火)】

◆芳川 修二

- ① 村づくりのビジョンと重点施策について
- ② 村の財政計画について
- ③ 耕作放棄地対策について
- ④ 耕作放棄地対策と蕎麦の振興について

◆山崎 栄喜

- ① 財政運営について
- ② 災害時避難行動マニュアル等について
- ③ 有害鳥獣対策について
- ④ 樽川堤防舗装に伴う影響について

◆勝山 卓

- ① 遊休荒廃地の解消と発生防止に向けて
- ② 新型コロナウイルス感染症対策について

◆江田 宏子

- ① より良い教育・子育て環境をめざして
- ② 広報広聴の取り組みについて
- ③ 観光行政と第三セクターについて

※質問・答弁の要旨は来月(2月号)の議会だよりに掲載します。

3月定例会

の予定

(1月15日現在)

● 2月24日(水)

定例会開会日

● 3月10日(水)

一般質問

● 3月11日(木)

一般質問

● 3月12日(金)

採決・閉会

■ 請願・陳情の受付締切日

2月17日(水)

請願・陳情は早めに議会事務局に提出していただき、事務局員に内容の説明をお願いします。